

## 第128回南あわじ市議会定例会議事日程（第1号）

令和6年11月21日（木）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 行政報告
- 第5 委員会調査報告
- 第6 議席の変更について
- 第7 承認第3号、承認第4号（2件一括上程）  
承認第3号 令和6年度南あわじ市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて  
承認第4号 令和6年度南あわじ市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて
- 第8 議案第84号～議案第86号（3件一括上程）  
議案第84号 南あわじ市地域集会施設条例の一部を改正する条例制定について  
議案第85号 南あわじ市公民館条例の一部を改正する条例制定について  
議案第86号 南あわじ市吹上浜野外教育センター条例の一部を改正する条例制定について
- 第9 議案第87号 南あわじ市老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について
- 第10 議案第76号、議案第80号～議案第83号（5件一括上程）  
議案第76号 令和6年度南あわじ市一般会計補正予算（第6号）  
議案第80号 令和6年度南あわじ市広田財産区特別会計補正予算（第1号）  
議案第81号 令和6年度南あわじ市福良財産区特別会計補正予算（第1号）  
議案第82号 令和6年度南あわじ市北阿万財産区特別会計補正予算（第1号）  
議案第83号 令和6年度南あわじ市沼島財産区特別会計補正予算（第1号）

第11 議案第77号～議案第79号 (3件一括上程)

- 議案第77号 令和6年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
議案第78号 令和6年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
議案第79号 令和6年度南あわじ市介護保険特別会計補正予算(第1号)

第12 議案第88号、議案第89号、議案第92号～議案第96号 (7件一括上程)

- 議案第88号 財産の譲与について(弘川集落センター)  
議案第89号 財産の譲与について(野原集会所)  
議案第92号 公の施設の指定管理者の指定について(新コミュニティセンター)  
議案第93号 公の施設の指定管理者の指定について(かるも集会所)  
議案第94号 公の施設の指定管理者の指定について(コミュニティセンター潮美台会館)  
議案第95号 公の施設の指定管理者の指定について(福井北集会所)  
議案第96号 公の施設の指定管理者の指定について(高原集会所)

第13 議案第90号、議案第91号、議案第97号～議案第107号 (13件一括上程)

- 議案第90号 財産の譲与について(老人福祉センターあづま荘)  
議案第91号 財産の譲与について(志知研修指導施設)  
議案第97号 公の施設の指定管理者の指定について(沼島リサイクルセンター)  
議案第98号 公の施設の指定管理者の指定について(伊加利コミュニティセンター)  
議案第99号 公の施設の指定管理者の指定について(老人福祉センターゆづるは荘)  
議案第100号 公の施設の指定管理者の指定について(老人憩いの家賀集荘)  
議案第101号 公の施設の指定管理者の指定について(灘いきがい創造センター)  
議案第102号 公の施設の指定管理者の指定について(あわじ島まるごと食の拠点施設「農畜水産物直売施設」)  
議案第103号 公の施設の指定管理者の指定について(産業文化センター)  
議案第104号 公の施設の指定管理者の指定について(中筋地区農村集落多目的共同利用施設)  
議案第105号 公の施設の指定管理者の指定について(安住寺集落センター)  
議案第106号 字の区域の変更について(湊、阿那賀地区)  
議案第107号 市道路線の廃止及び変更について

# 議 員 派 遣 報 告 書

令和6年11月21日 定 例 会

第127回定例会より本日までの地方自治法第100条第13項及び会議規則第162条の規定による議員派遣について、次のとおり報告します。

- 1 岡山県新見市議会視察受入
  - (1) 派遣場所 議員協議会室
  - (2) 期 間 令和6年10月23日
  - (3) 派遣議員 議長、総務文教常任委員長
  
- 2 福井県高浜町議会視察受入
  - (1) 派遣場所 議員協議会室
  - (2) 期 間 令和6年11月6日
  - (3) 派遣議員 副議長、総務文教常任委員長
  
- 3 議会報告会
  - (1) 派遣場所 湊地区公民館
  - (2) 期 間 令和6年11月7日
  - (3) 派遣議員 全議員
  
- 4 南あわじ市総合防災訓練
  - (1) 派遣場所 倭文小学校
  - (2) 期 間 令和6年11月17日
  - (3) 派遣議員 全議員

# 議 長 報 告

令和6年11月21日 定 例 会

第127回定例会を令和6年9月27日に閉会しましたが、その後の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

(令和6年度)

9 月	28 日	阿万港津波防災インフラ完成式典（正副議長、総務文教常任委員出席）	阿万海岸海水浴場
	29 日	南あわじ市男子・女子ソフトボール大会（副議長出席）	三原健康広場グラウンド
	30 日	淡路政経懇話会 9 月例会（議長出席）	洲本商工会議所
10 月	4 日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
	6 日	南あわじ市戦没者追悼式（全議員出席）	文化体育館
	7 日	産業厚生常任委員会	委員会室
	9 日	東播・淡路市議会議長会正副議長研修会（正副議長出席）	アートホテル盛岡
	9 日 ~ 10 日	全国市議会議長会研究フォーラム（正副議長出席）	トーサイクラシックホール岩手
	11 日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
	〃	近畿市議会議長会理事会（議長出席）	ホテルオークラ京都
	〃	近畿市議会議長会議長研修会（議長出席）	ホテルオークラ京都
	16 日	議員協議会	議員協議会室
	〃	南あわじ市議会防災訓練（全議員出席）	委員会室
	17 日	総務文教常任委員会	委員会室
	18 日	議会運営委員会	委員会室

10月	19日	暴力追放・安全安心まちづくり市民大会（議長、総務文教常任委員出席）	市役所第2別館
	23日	岡山県新見市議会視察受入（議長、総務文教常任委員長出席）	議員協議会室
	27日	B & G会長杯少林寺拳法淡路大会（副議長出席）	南淡B & G海洋センター
	28日	兵庫県市議会議長会对県要望（議長出席）	兵庫県庁
	31日	淡路政経懇話会10月例会（議長出席）	洲本商工会議所
11月	3日	三原総合文化祭（議長出席）	市地区公民館
	4日	福良港津波防災インフラ完成式典（議長、総務文教常任委員出席）	福良港津波防災ステーション「うずまる」
	5日	千葉県香取市議会視察受入（議長出席）	議員協議会室
	6日	全国市議会議長会理事会・評議員会合同会議（議長出席）	都市センターホテル
	〃	福井県高浜町議会視察受入（副議長、総務文教常任委員長出席）	議員協議会室
	7日	議会報告会（全議員出席）	湊地区公民館
	8日	会派代表者会議	委員会室
	14日	議会運営委員会	委員会室
	15日	議員協議会	議員協議会室
	〃	会派代表者会議	委員会室
	17日	南あわじ市総合防災訓練（全議員出席）	倭文小学校
	18日	兵庫県市議会議長会正副会長会（議長出席）	議員協議会室
	19日	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会	議場

11 月	〃	離島振興市町村議会議長全国大会（議長出席）	議長室
	20 日	南あわじ市健康大学講座修了式（議長出席）	市地区公民館

地方自治法第121条の規定により説明のため出席する者の職氏名

令和6年11月21日

市 長	守 本 憲 弘
副 市 長	喜 田 憲 和
教 育 長	新 宅 忠 敏
総務企画部長(業務改革・DX推進)	木 田 博 仁
総務企画部付部長(企画担当) 兼市長特別補佐(子育ての喜びが 見えるまちづくり推進調整担当)	家 田 和 幸
危機管理部長 兼市長特別補佐 (団体との連携推進担当)	西 岡 義 文
市民福祉部部長 (総合調整担当)	西 庄 登
市民福祉部付部長 (福祉担当)	齋 藤 浩 二
産業建設部長(総合調整担当) 兼市長特別補佐	川 上 洋 介
産業建設部付部長(農林・農地担当)	廣 内 繁 一
産業建設部付部長 (公共建設・総合調整担当)	多 田 孔 充
教育委員会教育次長 (学ぶ楽しさ日本一 推進担当)	福 田 龍 八

総務企画部副部長（総務担当） 兼 総務課長	中 村 尚 之
総務企画部副部長（企画担当） 兼 ふるさと創生課長 兼 うずしお世界遺産推進課長	中 嶋 宏 昭
市民福祉部副部長（環境担当）	堀 祥 夫
産業建設部副部長（農林担当） 兼 農林振興課長	栄 井 賢 次
産業建設部副部長（水産・商工観光担当） 兼 水産振興課長 兼 食の拠点推進課長	興 津 武 秀
産業建設部副部長（公共建設担当）	井 上 拓 也
会計管理者兼会計課長	加 野 泰 生
教育委員会教育次長補 兼 学校教育課長 （学校教育指導主事）	上 原 泉
選挙管理委員会書記長	秀 充 浩

(公印省略)  
令和6年11月21日

南あわじ市議会  
議長 印 部 久 信 様

総務文教常任委員会  
委員長 蛭 子 智 彦

## 委 員 会 調 査 報 告 書

第122回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

# 調 査 概 要

## 1 調査事件

- (1) 市の総合的企画、調整について
- (2) 行財政計画について
- (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について
- (4) 情報化の推進について
- (5) 離島振興対策について
- (6) 国際交流及び友好市町の調査について
- (7) 人権施策について
- (8) 消防・防災対策の推進について
- (9) 教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備について
- (10) 青少年の健全育成について
- (11) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

## 2 調査の経過

令和5年11月21日、第122回南あわじ市議会臨時会において、総務文教常任委員の選任が行われ、以後、10回にわたり委員会を開催しその内7回、所管事務調査を行った。

今年度より、市が行う事業の検証と評価を行うため事業評価を試行実施した。

調査事項について現状を把握するため、管内調査を2回、先進的取り組みを行っている関係団体に管外調査を3日間にわたって実施した。

「より深い議論」を目的として、引き続き、質問の事前通告制を取り入れ議論を深めた。

### (1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和5年12月13日、令和6年1月26日、4月9日、5月20日、8月21日、9月25日、10月17日

### (2) 管内調査

令和6年1月26日

GIGAスクール構想事業関係について

令和6年8月21日

大学連携推進事業について

### (3) 管外調査

令和6年7月3日～5日

○静岡県三島市

・防災関係について

○東京都檜原村

・コミュニティバス関係について

○茨城県水戸市

・教育関係について

## 3 調査の結果

### (1) 市の総合的企画、調整について

南あわじ市のECサイトについて、大手サイトに比べても手数料が割安であるので、PRを工夫し出品数や出品店舗を増やしていただきたい。

フードドライブ事業について、一人でも多くの方に利用してもらい、届けるべき方に届くように周知を徹底していただきたい。

大学連携推進事業について、吉備国際大学の入学者への大学入学奨励金の適用要件の緩和や大学連携推進協議会において市民との対話をするなど、地域課題の解決に向けての工夫は見られるが、その研究成果の情報発信が乏しい。今後、大学とともに情報発信に務めてもらいたい。

### (2) 行財政計画について

定員管理計画について、計画期間の中間地点であるが、適正な人員配置及び人員確保ができるように必要な部分は計画を見直していただきたい。

### (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について

南あわじ市歴史民俗資料館について、現在閉鎖されているが、埋蔵文化財事務所との連携も含めて、有効活用できるように検討していただきたい。

### (4) 情報化の推進について

市のホームページについて、トップページの配置を見直し、必要とされている情報をすぐに見つけることができるようにしていただきたい。

庁舎内のパソコンが更新の時期とのことだが、現在使用しているパソコンを適切に廃棄し、情報漏洩のないようにしていただきたい。

### (5) 離島振興対策について

沼島地区にある教職員住宅の今後の在り方について、合宿利用や漁村留学の拠点とすることも視野に入れて検討していただきたい。

沼島の海上輸送について、輸送船の老朽化により、工事用の重機等が輸送困難となっている。それに代わる持続可能な輸送手段を構築し、海上輸送ができない期間をで

きるだけ少なくしていただきたい。

#### (6) 消防・防災対策の推進について

能登半島地震の際、トイレカーを南あわじ市より被災地へ派遣したが、派遣職員が被災地支援するときの拠点となるサポートカーの導入の検討を視野に入れていただきたい。

災害時の避難所の感染症対策として、能登半島地震の被災地では消毒液が不足したとの事もあり、備蓄品等の再検討も含めて感染症対策をしっかりとしていただきたい。

家屋被災者の仮設住居への転居について、民間賃貸住宅を借り上げ、みなし仮設住宅とする場合があるが、家財道具が補助の対象外となっている。能登半島地震のあった石川県では県独自で補助をしており、兵庫県と十分に協議し、被災された方々が次の新しいステップに進めるような対策を講じていただきたい。

特殊詐欺被害防止について、70歳以上のNTT電話加入者はナンバーディスプレイとナンバーリクエストの設置工事費及び使用料が無料となるが、e o光電話加入者にはそのような制度がないので、e o光電話加入者に対しても、同様の制度を設けるように事業者働きかけていただきたい。

#### (7) 教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備について

公民館の貸館申し込みや予約状況の確認について、オンライン手続きなど、利便性の向上に取り組んでいただきたい。

中学校の部活動の郷土芸能部について、部員数が減ってきており、存続が危ぶまれる。地域のアイデンティティである伝統芸能を途絶えさせないため、生徒の興味を高め、部員数の確保に努めていただきたい。

部活動で使用する備品の管理について、部活動によっては備品を管理する用具を生徒自身で購入しなければならないことがあるようだが、備品は学校のものであるため管理する用具も学校で購入するように是正していただきたい。

児童生徒の読解力について、読書に加えて、研究機関で音読や黙読では習得できない文章理解の効果がある視写を取り入れて読解力を高めていただきたい。

#### (8) 青少年の健全育成について

不登校児童生徒の支援について、市内では適応教室や学ぶ楽しさ支援センターで支援を行っているが、他市で不登校状態を未然に防ぐ効果がある校内フリースクールの導入も検討していただきたい。

青少年のインターネットによるトラブルについて、ゲームの課金や投資詐欺等のトラブルが増えているが、消費生活センターの相談員が学校に出向き出前講座等を行い啓発することでトラブルを未然に防ぐことができる場合も多いため、今後も注意喚起を継続していただきたい。

## 4 事業評価

### (1) 評価事業

大学連携推進事業

### (2) 調査研究

令和6年 8月21日 対象事業決定、現地視察、関係者意見交換

9月25日 委員会内協議

10月17日 評価結果、提言のまとめ

### (3) 事業評価の結果及び提言

別紙のとおり

## 令和6年度事業評価シート(委員会まとめ)

## 【総務文教常任委員会】

事業名	大学連携推進事業
委員会評価	<p>おおむね適正である</p> <p>本市が直面している地域課題の解決に向けて取り組んでいるところは評価できる。卒業生の市内定着が少ない点は商工会等と連携を強化し、事業者と学生のミスマッチがないように図っていただきたい。ジビエなどの商品開発が進んでいないことや、本市で起業を行う学生への支援があまり見られないことに対して、支援の拡充を求める。また、大学の研究成果の情報発信が乏しいため、今後大学とともに情報発信に努めてもらいたい。新設された海洋水産生物学科は、志願者が多いので、入学者と地域がどう連携していくか注視して見ていきたい。</p>
事業に係る提言	<p>改善し継続する</p> <p>予算規模は現状で概ね適切であるが、受験先として選ばれる大学、農政農業の関係で選ばれる学部になるために、学生(特に女子学生)が安心して住めるようなアパートの確保等、居住先の状況把握や大学ブランド商品の開発などへの取り組みに引き続き努めてもらいたい。卒業生の進路については、本市で就職してもらえるようインターンシップを南あわじ市商工会との連携の下で行う等、在学中も卒業後もいかにして学生が本市で活動しやすい状況を作れるかを考え、定住促進につなげ、また本市で起業を行う際の卒業生への支援の拡充を求める等、大学としての魅力発信に努めてもらいたい。</p>

( 公 印 省 略 )  
令和6年11月21日

南あわじ市議会  
議長 印 部 久 信 様

産業厚生常任委員会  
委員長 長 船 吉 博

## 委 員 会 調 査 報 告 書

第122回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

# 調 査 概 要

## 1 調査事件

- (1) 税の賦課徴収について
- (2) 生活環境の整備推進について
- (3) 福祉対策について
- (4) 介護保険と高齢化社会対策について
- (5) 医療体制と健康づくりの推進について
- (6) 商工業及び観光の振興について
- (7) 農業振興の推進について
- (8) 水産振興の推進について
- (9) 都市整備事業の推進について
- (10) 下水道事業の推進について
- (11) 農業委員会に関すること

## 2 調査の経過

令和5年11月21日、第122回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われ、以後、10回にわたり委員会を開催し、その内7回、所管事務調査を行った。

今年度より、市が行う事業の検証と評価を行うため事業評価を試行実施した。

また、調査事項について現状を把握するため、管内調査を1回、先進的取り組みを行っている自治体への管外調査を3日間にわたって実施した。

### (1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和6年1月24日、2月14日、4月11日、5月2日、8月20日、9月24日、10月7日

### (2) 管内調査

令和6年2月14日

○沼島

- ・沼島の現地調査について

### (3) 管外調査

令和6年7月17日～19日

○香川県高松市

- ・高松型地域共生社会構築事業について

- 愛媛県今治市
  - ・観光施策について
- 高知県高知市
  - ・空き家対策の取組について

### 3 調査の結果

#### (1) 生活環境の整備推進について

ごみの分別については、市民が手間をかけ積極的に行うことで資源ごみ売却料の収入につながっている。今後においても、その収入をごみ袋や地域の集積箱設置などに還元するように考えていただきたい。

#### (2) 福祉対策について

在宅で人工呼吸器等をつけて生活されている方は非常時の備えとして、発電機が必要であるため、発電機を日常生活用具の対象とすることを検討していただきたい。

生活保護の住宅扶助費について、兵庫県が指定する金額で借りることのできる物件が南あわじ市内には非常に少なく、実態に応じたものになっていない。生活保護者が住宅を確保できるように支援していただきたい。

保育士の人員確保について、保育士の処遇や職場の環境づくり、業務に対するやりがいについて、ヒアリング調査等を行い、その結果に基づいた改善をするよう検討していただきたい。

保育所の調理師配置について、アレルギー対応等必要不可欠な業務であるにもかかわらず人員が不足しているため、調理師の採用に向けて進めていただきたい。

昨今の異常気象における夏季の熱中症対策について、生活困窮世帯に対し、エアコンの設置や修理に対する支援を検討していただきたい。

#### (3) 介護保険と高齢化社会対策について

高齢化に伴い、どの地区でも、ごみ出しに苦慮する高齢者が増加している。地区によりごみ出し方法は異なるが、市民の声を十二分に聞いていただき、引き続きごみ出し支援を続けていただきたい。

#### (4) 医療体制と健康づくりの推進について

令和5年度のまちぐるみ健診の受診率が、特定健診が始まった平成20年以降最も高い48.5%となり、大変すばらしいことである。市民の健康を守るためにも、今後もより一層、普及啓発に努めていただきたい。

また、令和5年度にまちぐるみ健診を受診後、精密検査を受けた方で、がんが発見された方は33名であったが、要精密検査と判定された方には、引き続き、迅速に知らせていただき、早期治療を促していただきたい。

#### (5) 商工業及び観光の振興について

リニューアルオープンした灘黒岩水仙郷の水仙について、咲き方にむらがあり、咲いてない場所も多くある。また、獣害により球根が被害に遭うなど、課題が多い。立派な水仙を咲かせるために地元の方や専門家と協力しながら、水仙と土壌の管理を行っていただきたい。

また、集客について、絶景を活かした撮影スポットの設置を検討していただくとともに、テレビ放映等を含め、しっかりとPRを進めていただきたい。

大阪・関西万博に向けて、市内の豊かな産品に付加価値をつけ、地域食材を活かした料理を通して豊かな時間を過ごしていただくことで、観光消費額の向上につなげていただきたい。

#### (6) 農業振興の推進について

圃場整備は、内水対策や低地対策にも寄与し、道路の拡幅等にも繋がる。地元との協議を行いながら、圃場整備事業の促進により一層支援していただきたい。

高齢化や人口減少による農業者の減少や耕作放棄地の拡大を防ぎ、農地を守っていくために、より多くの地域で、地域計画が策定できるよう、きめ細やかな支援をしていただきたい。

また、農業を支えるための支援策や補助等について国へ要望していただきたい。

#### (7) 水産振興の推進について

水交会が各漁業組合に水中ドローンを配備し、養殖の様子や藻場調査に活用しているとのことだが、有効活用できていない漁業組合もあるようである。水中ドローンには多様な活用方法があるので、有効活用できるように支援し、漁業所得の向上につなげていただきたい。

#### (8) 都市整備事業の推進について

市営住宅の管理について、自治会加入促進や災害発生時等の共助を図るため、他部署との連携を取りながら進めていただきたい。

市内の公園整備について、各小学校への遊具増設や学校開放だけでなく、誰もが利用できるような公園整備について検討していただきたい。

令和5年度に空き家の利用希望の問い合わせ360件に対し、空き家バンクに登録されている空き家が40戸と、希望に対応できていない状況である。人口減少対策、定住人口増加に向けた施策を進めている中、南あわじ市への移住希望者を逃さないように住宅の確保を早急に進めていただきたい。

#### (9) 下水道事業の推進について

能登半島地震では、下水管の破損やマンホールの浮上など大きな被害があった。被害の復旧方法や、防止策について十分に調査し、南海トラフ巨大地震に備えていただきたい。

## 4 事業評価

### (1) 対象事業

灘黒岩水仙郷管理運営事業

### (2) 調査研究

令和6年 8月20日 対象事業決定

9月24日 委員会内協議

令和6年10月 7日 評価結果、提言のまとめ

### (3) 事業評価の結果及び提言

別紙のとおり

## 令和6年度事業評価シート(委員会まとめ)

【産業厚生常任委員会】

事業名	灘黒岩水仙郷管理運営事業
委員会評価	<p>問題がある</p> <p>灘黒岩水仙郷は、冬季の観光における目玉事業であり、リニューアルオープン前よりもっと水仙を咲かせる必要があったが、水仙が非常に少なかった。</p> <p>また、通年営業の直営とする場合、年間を通して多くの観光客に来ていただくことを目標とした計画や休日対応並びに人件費や売上などの試算が必要だが、現在は計画ができていない。灘地区の人口減少や灘の魅力をどう発信していくかといった課題についても、地元の方が携わっていくための体制づくりができていない。</p> <p>執行部による工夫した点として、バリアフリーに配慮した勾配の通路整備や畔波シートの設置などが挙げられるが、高台を上がった部分については勾配を考慮した園路整備がなされていない点や肥料を全て人力で運ばないといけない点など課題はある。</p>
事業に係る提言	<p>改善し継続する</p> <p>灘黒岩水仙郷は、冬季の観光における目玉事業である。水仙を見に来られるお客様に水仙の鑑賞を楽しんでいただき、続いて南あわじ市内の他の観光施設で美味しいものを食べていただいたり、宿泊していただくといった南あわじ市全体を通したおもてなしのビジョンをもった計画が必要である。</p> <p>幅広い年齢層のお客様に年間を通じて来ていただくためには、通年営業に向けての施策や物販の工夫、年間を通じた水仙の管理体制の整備が必要となる。</p> <p>灘地域の活性化に繋がるよう事業内容を工夫されたい。</p>

( 公 印 省 略 )  
令和 6 年 1 1 月 2 1 日

南あわじ市議会  
議長 印 部 久 信 様

議会広報広聴常任委員会  
委員長 吉 田 良 子

## 委 員 会 調 査 報 告 書

第 1 2 2 回南あわじ市議会臨時会において議会広報広聴常任委員の選任が行われて以後、閉会中に開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第 1 0 8 条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

# 調 査 概 要

## 1 調査事件

- (1) 議会広報紙に関する事項
- (2) 議会報告会に関する事項
- (3) 議会ホームページに関する事項
- (4) 議会ライブ配信、録画配信に関する事項
- (5) その他議会広報広聴活動に関する事項

## 2 調査の経過

令和5年11月21日、第122回南あわじ市議会臨時会において議会広報広聴常任委員の選任が行われ、以後、閉会中の所管事務調査申し出の承認を受け、9回にわたり委員会を開催した。

調査事項について、先進事例等を調査するため、北海道芽室町議会、北海道富良野市議会、北海道鷹栖町議会への管外調査を行った。また、管内調査として、3市合同広報広聴交流会や子ども議会、中学生との意見交換会を行った。

### (1) 調査のため閉会中に開催した委員会

令和6年 1月5日・15日、4月5日・12日、7月8日・16日、8月19日、  
10月4日・11日

### (2) 管外調査

令和6年5月13日～15日

- 北海道芽室町議会
  - ・議会モニター制度等広報広聴の取組について
- 北海道富良野市議会
  - ・市民との意見交換及び議会だよりについて
- 北海道鷹栖町議会
  - ・議会改革を促す広報広聴の取組について

### (3) 管内調査

令和6年1月23日

- 第14回議会報告会
  - 沼島総合センターにて議会報告及び市民との意見交換を実施した。

令和6年7月2日

○第4回 淡路3市合同広報広聴交流会

淡路市広報広聴調査特別委員会及び洲本市広報広聴特別委員会と議会広報広聴について、研修と意見交換を実施した。

令和6年8月6日

○子ども議会

市内各小学校の代表15名が子ども議員となり、市議会議員が答弁を行う形で開催した。

令和6年8月19日

○中学生との意見交換会

市内各中学校の代表12名が議員に質問する形で、意見交換を実施した。

令和6年11月7日

○第15回議会報告会

湊地区公民館にて議会報告及び市民との意見交換を実施した。

### 3 調査の結果

#### (1) 広報活動

○議会広報紙の発行

定例会等の報告として「議会だより」を第80号から第83号まで計4回発行した。視察研修等で学んだことを活かし、次の点を改善した。

- ① より見やすい「議会だより」とするため、第80号から、付託された委員会での審査記事を市民により身近な内容に厳選し、掲載することにした。また、一般質問のページについて、一目で質問と答弁がわかるように、「問」と「答」の背景色を色分けした。
- ② 市民により議会が身近に感じてもらえるよう、市内の子どもたちの記事を裏表紙に採用した。

これからも、幅広い世代に議会を身近に感じてもらえるように、過去からの編集方針などを見直しつつ、より市民の視点に合った広報紙づくりに取り組んでいきたい。

○定例会の傍聴アナウンス

定例会について、傍聴の案内及びYouTubeでの本会議ライブ配信のお知らせを行った。また、さんさんネットコミュニティチャンネルでの一般質問の放送予定日のお知らせを行った。

## ○Y o u T u b eでの動画配信

議会をより身近にする、見える議会活動の一環として、Y o u T u b eで本会議・委員会のライブ配信を行った。

また、市のホームページにY o u T u b eのURL、「議会だより」にQRコードを掲載し、Y o u T u b eで一般質問の動画配信を行った。

広報活動は、市民が議会に興味関心を持ってもらうことを目的にし、定例会の傍聴者増加、議会の活性化につながるよう、今後も見える議会活動として取り組んでいきたい。

## (2) 広聴活動

### ○3市合同広報広聴交流会

写真の基本的な構図や上手な見出しの書き方について研修を受け、島内2市の委員と「議会だより」の掲載の工夫や広聴活動について意見交換を行った。

### ○議会報告会

第14回議会報告会は、令和6年1月23日に沼島総合センターで開催した。沼島地区に関する事業を中心に総務文教常任委員長、産業厚生常任委員長から市民に報告を行い、グループワーク形式において全議員が市民と意見交換し、意思の疎通を図った。

第15回議会報告会は、令和6年11月7日に湊地区公民館で開催した。総務文教常任委員長、産業厚生常任委員長から、南あわじ市の事業についての議会審議などを中心に報告を行い、議員が市民の質問に答え、身近な課題の対策案について意見交換し、相互理解を深めた。

### ○子ども議会

第10回子ども議会は、児童が市に望むことを自由に発言してもらい、小学校区ごとの特有の課題から南あわじ市全体に及ぶ課題まで、幅広い提案や質問について議論が行われた。

今後も、子どもたちの多様な意見を聴くことができるようなテーマを設定し、未来を担う子どもたちが政治や行政に関心を持ち、学ぶ機会にしていきたい。

### ○中学生との意見交換会

中学生と意見交換を行い、中学生の学校生活の現状などを把握することができた。中学生にとってよりよい学ぶ環境が作れるよう提言していきたい。

広聴活動を通し、さらなる議員活動の充実につなげていきたい。

( 公 印 省 略 )  
令和6年11月21日

南あわじ市議会  
議長 印 部 久 信 様

議会運営委員会  
委員長 谷 口 博 文

## 委 員 会 調 査 報 告 書

第122回南あわじ市議会臨時会において議会運営委員の選任が行われて以後開催された所掌事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

# 調 査 概 要

## 1 調査事件

- (1) 議会運営に関する事項
- (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- (3) 議長の諮問に関する事項

## 2 調査の経過

令和5年11月21日、第122回南あわじ市議会臨時会において議会運営委員の選任が行われ、以後、所掌事務調査申し出の承認を受け、12回にわたり委員会を開催し、議会運営に関する諸課題について調査を行った。

調査事項についての先進事例等を調査するため、三重県いなべ市議会、岐阜県可児市議会、愛知県知立市議会への管外調査を行った。

### (1) 調査のため閉会中に開催した委員会

令和5年 12月19日

令和6年 1月19日、2月13日、3月25日、4月17日、  
5月24日、6月26日、7月16日、8月23日、  
9月27日、10月18日、11月14日

### (2) 管外調査

令和6年5月8日～10日

#### ○三重県いなべ市議会

議会改革の取組について

- ・議会ICTの取組
- ・予算決算常任委員会による事務事業評価
- ・議会検証評価特別委員会

#### ○岐阜県可児市議会

議会改革の取組について

- ・4つの議会サイクル
- ・市民アンケート
- ・議会ICTの取組

#### ○愛知県知立市議会

議会改革の取組について

- ・議会ICTの取組
- ・議会DX推進PT
- ・議会モニター制度

### 3 調査の結果

#### (1) 議会運営に関する事項

毎月定例的に委員会を開催し、本会議及び委員会の日程調整並びに議会運営についての協議を行った。その中で、議会の活動のあり方等について課題点を取り上げ、円滑で効率的な運営を図るため調査研究を行った。

タブレットの運用管理及び活用方法を調査するため、タブレット小委員会を適宜開催し、オンラインでの委員会開催を見据えて、オンライン会議の体験を行った。今後も引き続き、議員活動のさらなる充実に向けて、議員全員のタブレットの操作技術の習得に努めていく。

委員会において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止をきっかけに導入した説明員の入れ替え制について、審議充実のために継続することとした。

議会が注視する事業について、様々な見地から検証を行い、評価し、執行機関へ提言を行う事業評価を試行的に開始し、総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会において評価した結果及び提言を執行部へ提出した。

#### (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項

地方自治法の一部改正により議会の議員に係る請負に関する規制の明確化及び緩和がなされたことを受け、議員の職務遂行の公正、適正を損なうこととならないよう、議員個人による請負の状況の透明性を確保するため、南あわじ市議会議員の請負の状況の公表に関する条例及び同施行規程を制定した。

また、個人情報保護法施行規則の改正に対応させるため、南あわじ市議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の一部を改正し、漏えい等が生じた際に本人への通知が必要となる「保有個人情報」は議会の事務局の職員が取得し、又は取得しようとしている個人情報であって、保有個人情報として取り扱われることが予定されているものも含むこととし、個人の権利利益の保護の充実を図った。

#### (3) 議長の諮問に関する事項

南あわじ市議会議員研修会では、7月1日に淡路県民局洲本土地改良事務所長角谷和一郎氏を招き、地域農業を守る農業農村整備事業をテーマに研修を受けた。

また、淡路議会議員研修会が、7月26日に福良地区公民館にて開催され、ITエバンジェリスト若宮正子氏による淡路発で進める「日本の課題：高齢化対策とデジタル化」についての講演を聴講した。

## 議席の変更について

南あわじ市議会会議規則第3条第3項の規定に基づき、議員の議席を次のとおり変更する。

令和6年11月21日

南あわじ市議会議長 印 部 久 信

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1 番		1 0 番	
2 番		1 1 番	
3 番		1 2 番	
4 番		1 3 番	
5 番		1 4 番	
6 番		1 5 番	
7 番		1 6 番	
8 番		1 7 番	
9 番		1 8 番	